

2026.3.24

2026 年度予算案反対討論

日本共産党 駒形八寿子

日本共産党の駒形八寿子です。只今の予算審査特別委員会委員長の報告は原案可決でありましたが、反対の立場から討論を行います

令和 8 年度予算において、私は総務予算審査特別委員会で、「長引く物価高騰対策に係る予算化された事業について改めてお聞きしました。当局からは

- ① 小学校の学校給食費完全無償化
- ② 水道料金利用者負担軽減
- ③ 公共交通事業の燃料費高騰分の支援などがあげられました。

私は、小学校の給食費無償化については、大いに評価したいと思います。

当会派は 2019 年から給食費無償化実施を議会等において何度も求めてきました。また、2024 年の 12 月議会では「市原市に小中学校給食費無償化に向けての財政措置をもとめることについて」の請願が議会において賛成多数で可決されたという経緯もあります。まさに「こどもまんなか社会」の実現の一つであり、学校給食費無償化の扉が大きく開いたのではないのでしょうか。

さらに、中学校の無償化が求められると思います。

それでは、以下の 3 つの理由から、来年度予算案に反対の理由を述べます。

第一は、本市は全国的にみて豊かな財政力でありながら、物価高騰の影響を受けている市民の暮らしや、中小業者への支援が不十分であることです。

市税においては、昨年を上回り、令和 8 年度は約 590 億円、財政調整基金は約 64 億 7000 万円の見込みです。また、本市の財政白書によると、財政力指数は令和 6 年度で 1.086、県内でも上位を占めています。

建設コストの上昇から、一定の備えは必要ですが、低・中所得の課税世帯を含む生活支援金の支給、介護などケア従事者をはじめ、中小の事業者への支援、高すぎる国民健康保険料など、市民の切実な願いを実現するための財源に回すべきと考えます。

30代の自営業の男性と話す機会がありました。男性は、市原で生まれ育ち、地元で働いていますが、「自分の友人はみんな市外や他県に出ている、淋しいですよ。」と言われました。若者たちが市原に住み続け、働ける市原市にしてほしいと話してくれました。

先ほど、ごみ手数料有料化については、「議案継続審査」となりました。

ゴミ手数料有料化の新聞報道を知った、三人の子育てをしているお母さんは、「困ります！子ども三人育てて、今でも精一杯の生活をしています。」と窮状を訴えてくれました。物価高騰の下、子どもを育てながら、一生懸命家計をやりくりしている家庭の声に耳を傾け十分な審議を尽くすべきと考えます。

今議会で継続審査となりましたが、議案のゴミ袋の値上げ、国民健康保険料の引き上げ、水道料金の引き上げは、物価高から、暮らしを守り、経済を支える予算へ転換すべきです。

二つめは、学校の現場についてです。

先日のちば日報では、千葉県の教員不足が県内91校120人と大きく報道されました。

当会派は「2026年度予算編成に当たっての政策提言」を市長に提出しました。

- ・教員の多忙化は、子どもたちと接する時間や授業の準備をする時間を奪っている。共同して問題解決にあたる教師集団を作り、教員の多忙化解消を図る事。
- ・教職員の超過勤務手当など保障するよう国、県に求める事
- ・臨時教職員、非常勤講師など非正規の処遇を改善し、早期に正規雇用へ切り替える事

などを提言しました。一刻も早く教育の現場の処遇改善をし、働きやすい環境作りへの手当に十分な予算化をすべきです。

最後三つ目に高齢者に関連して申し上げたいと思います。

高齢者補聴器購入費助成事業、来年度も非課税者のみ対象一人3万円、100件を想定、300万円の予算。令和7年度と全く同じです。

今年の1月31日現在では34の方が受給しています。

補聴器購入の助成制度については多くの声を聞きます。

「対象世帯がすくなくすぎる、もっとたくさんの方が利用できるようにしてほしい」

「年齢を制限するのではなく、また非課税世帯のみでなく、困っている人に支援してほしい」

「聴力の低下は生活のクオリティ、健康そのものの低下につながる。助成を厚くしてほしい」

「年金暮らしの人も買えるようにしてほしい」

高齢者の生の声をたくさん聴いて、声に応えていただきたい。

そして、安心して暮らせる老後を、長寿を喜べる市原市に、思い切って予算をつけるべきと考えます。

「介護人材確保対策事業」についてです。4,047,000 円の予算です。

事業目的は、「介護需要がピークを迎える 2040 年に向け、介護サービスの安定的な提供と質の確保のため、市内の介護事業所の人材確保・定着を支援します」と謳われています。しかし、今介護の現場は、「人がいない、特にケアマネージャー」「給料が安い」「高齢化で認知症の方が増え、介護が大変」という話をよく聞きます。まずは人材確保と思いますが、十分な予算化をすべきです。これも、安心して暮らせる老後を、長寿を喜べる市原市に、思い切って予算をつけるべきと考えます。

以上の点を踏まえ、令和 8 年度市原市一般会計予算及び特別・企業各会計予算案には日本共産党は反対と致します。